



建築技術性能証明書

技術名称：MAGNUM-BASIC 工法
—プレボーリング拡大根固め工法—

申込者：ジャパンパイル株式会社 代表取締役社長 黒瀬 晃
東京都中央区日本橋浜町二丁目 1 番 1 号
前田製管株式会社 代表取締役社長 前田 直之
山形県酒田市上本町 6 番 7 号

技術概要：本技術は、プレボーリング拡大根固め工法であり、ストレートぐい、ST ぐいあるいは拡頭ぐいを必要に応じて組み合わせたものを根固め部まで同径で掘削した孔に建て込んで用いる工法である。

なお、本工法の地盤から定まる押込み方向の鉛直支持力については、国土交通大臣の認定：TACP-0507～0512（平成 28 年 10 月 13 日）および、一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-15-231A-018～023（平成 28 年 5 月 19 日）を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたいの地盤から定まる引抜き方向の支持力に関するものである。

開発趣旨：本技術は、ストレートぐい、ST ぐいあるいは拡頭ぐいを必要に応じて組み合わせること、および、根固め部のぐい先端からの方長さをぐい先端径 0～2 倍の範囲で任意に設定できることで、要求されるぐいの支持性能に応じた設計を可能としている。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

平成 28 年 10 月 13 日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 辻 文 三

記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および載荷試験の立会確認により性能証明を行った。

資料 1：MAGNUM-BASIC 工法 性能証明のための説明資料

資料 2：MAGNUM-BASIC 工法 設計基準

資料 3：MAGNUM-BASIC 工法 施工指針

資料 4：試験資料

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 は、本工法の設計基準であり、支持力算定式などの設計方法が示されている。

資料 3 は、本工法の施工指針であり、施工方法および施工管理方法などが示されている。

資料 4 には、資料 1 で用いた個々の載荷試験結果報告書や立会載荷試験報告書などが取りまとめられている。

証明内容：本技術についての性能証明の内容は、単ぐいとしての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「MAGNUM-BASIC 工法 設計基準」および「MAGNUM-BASIC 工法 施工指針」に従って施工された既製ぐいの引抜き方向の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限引抜き抵抗力は、同基準に定める算定式で適切に評価できる。